

## 資生堂のクリエイティブワーク Series.1

## 「あいだにあるもの -1970年代の資生堂雑誌広告から-」

## 開催のお知らせ

資生堂ギャラリーは、資生堂が時代ごとに創造してきたクリエイティブワークの一端を紹介する企画展をシリーズ化して開催します。

その1回目として、2023年6月6日(火)から7月30日(日)まで、1970年代の資生堂のクリエイティブワークにフォーカスした展覧会「あいだにあるもの -1970年代の資生堂雑誌広告から-」を開催します。本展では、1970年代の資生堂を代表するブランド「シフォネット」や男性用化粧品「MG5」、「ブラバス」、香水「モア」などの雑誌広告約150点をグラフィックおよび映像で展示し、これらの広告に見られるビジュアル・イメージとそこにそえられた文言の組合せにより、その「あいだにある」ギャップや余白から、見る者の想像力を掻き立てる魅惑のスペースを創りだします。

資生堂のクリエイティブワーク Series.1  
In-between:  
Shiseido Magazine Advertisements  
from the 1970s

あいだにあるもの

1970年代の資生堂の雑誌広告から  
2023年6月6日(火) - 7月30日(日)

The banner features several small images of magazine advertisements, including a woman in a red dress, a woman's face, a man's face, and a hand holding a cat.

会場ではビジュアル・イメージとコピーを映像・現物を通して展示すると共に、昨今注目を浴びているアンビエントユニット『UNKNOWN ME』のメンバーでもあるグラフィックデザイナー／アーティスト大澤悠大、プロデューサー／建築家H.Takahashiのほか、ビジュアルアーティスト原田康による、映像と音のインスタレーションも登場します。今日的なアンビエント音楽とともに、1970年代の資生堂のクリエイティブワークをダイナミックに見せる手法により、新たな驚きと発見をもたらします。

#### 展覧会開催の背景

1970年代は、若者たちのファッションやライフスタイルに影響を及ぼす雑誌メディアが登場し、多数のカラー写真をレイアウトした美しい誌面は、読者を惹きつけ、多くの流行を生み出しました。

資生堂はこうした時流にのり、連続した広告を展開。そこには商品の訴求はほとんどなく、ビジュアル・イメージとコピーとの間にあるギャップや余白から生じる物語性に満ちた魅惑がありました。さらにシリーズとして連続して展開することで、独特の世界観が浮かび上がり、ブランドイメージを強固なものにしていきました。

今日では、インターネットや SNS がコミュニケーションの主流となり、コミュニケーションにおいても効率性が重視され、広告でも簡潔で直接的に伝わりやすい表現が好まれる傾向にあります。しかし、それとはかけ離れた、まるで謎かけのような1970年代の資生堂雑誌広告の表現は、逆に日本人には馴染みの深い俳句(表現しない余白が生み出す表現の豊かさ)や、アヴァン・ギャルド芸術のダダイズム(意図的に意味をもたない表現)、シュルレアリスム(現実離れた奇妙な表現)にも相通じるような余白やわからなさに溢れています。

本展ではこの時代の資生堂のクリエイティブワークから約150点をセレクトし、その作品のあいだから立ちのぼるエレガンス、センシュアリティ、ユーモアなどのアーティスティックな魅力を紹介します。

また、本年3月22日に逝去された俳優の団時朗氏を偲び、同氏出演の資生堂広告作品をスペシャルムービーとして展覧します。団氏が俳優になるきっかけとなったスタイリッシュな広告作品の数々は、今もなお新鮮に輝きます。

来年以降もこうした資生堂の広告表現を中心としたクリエイティブを紹介する展覧会を企画していきます。

※資生堂ギャラリーでの次の展覧会は、2023年8月22日(火)から10月15日(日)まで、仲條正義展を予定しています。

---

## ■ インスタレーション作家プロフィール

### 大澤悠大（映像制作+全体ディレクション）



グラフィックデザイナー／アーティスト。企業ブランディングやイベントグラフィック、アーティストジャケットなどのアートディレクション／グラフィックデザインを中心に活動。その他、グラフィックデザイナーの視点から映像やアートワーク制作、音楽ユニットなどの活動も行う。日々グラフィックデザインが、社会や文化に対してどのように貢献すべきか模索している。アンビエントユニット【UNKNOWN ME】【Atoris】のメンバーとして、海外レーベルから多くの作品をリリース。グラフィック社『来るべきデザイナー』、PIE International 社『New Generation Graphics』、Viction:ary 社(香港)『Made in Japan』など、書籍掲載多数。

### H.Takahashi（楽曲制作）



東京を拠点とするプロデューサー／建築家。これまで、UK の【Where To Now?】、US の【Not Not Fun】、ベルギーの【Dauw】や【Aguirre】、日本の【White Paddy Mountain】といったレーベルからアンビエント作品をリリース。作曲には iPhone の GarageBand を用い、出来る限り要素を減らした簡素な方法で制作を行う。また、やけのはら、P-RUFF、大澤悠大らとのライブユニット【UNKNOWN ME】や【Atoris】としても各国から作品を発表している。2021 年末から東京の三軒茶屋にレコードショップ【Kankyo Records】をオープン。2023 年 3 月からはレーベルとしても活動を開始。

### 原田康（映像設営テクニカルサポート）



東京をベースとするビジュアルアーティスト、テクニカルディレクター。早稲田大学教育学部教育学科教育心理学専修卒業後、日本とカナダの制作会社で働き、近年は主にリアル／バーチャルライブや展示での映像／リアルタイム演出の開発などに従事。また、ビジュアルアーティストとして Vancouver Mini Maker Faire, Bass Coast, New Forms Festival, TED などに参加。TouchDesigner などのビジュアルプログラミングをメインとしたワークショップのインストラクターや関連イベントの企画・運営も行っている。宝塚大学東京メディア芸術学部非常勤講師。

## ■ 参考作品画像

(以下表記、C:コピーライター・Ph:フォトグラファー・AD:アートディレクター・D:デザイナー・ST:スタイリスト・M:モデル)



1971年 エムジー5 C:細川拓一郎・Ph:小川隆之・AD:犬山達四郎・D:中山禮吉・ST:淵崎絹枝・M:草刈正雄/団時朗



1970年 ナチュラルグロウ C:犬山達四郎・Ph:梶原謹輔・AD/D:八村邦夫



1970年 モア C:細川拓一郎・Ph:横須賀功光・AD:中村誠・D:花内勇・M:バニー・ラッツ



1973年 シフォネット C:小野田隆雄・Ph:十文字美信・AD:水野卓史・D:太田和彦・M:鹿間マリ



1975年 ブラバス C:小野田隆雄・Ph:安達洋次郎・AD:水野卓史・D:鈴木成光・M:白石鈴雄

---

■ 「あいだ に あるもの—1970年代の資生堂雑誌広告から—」開催概要

主催:株式会社 資生堂

協力: ADAM Audio

会期: 2023年6月6日(火)~7月30日(日)

会場:資生堂ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下 1階

tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

URL: <https://gallery.shiseido.com/jp/> (資生堂ギャラリー)

<https://gallery.shiseido.com/jp/exhibition/6201/> (展覧会詳細ページ)

平日 11:00~19:00 日・祝 11:00~18:00 毎週月曜休

(月曜日が祝日にあたる場合も休館)

入場無料

---

■ 関連企画 1

太田和彦氏、十文字美信氏「異端の資生堂広告」を語る

—1973年のシフォネット雑誌広告から—

日時:2023年 6月 16日(金) 18:00—19:00

会場:資生堂ギャラリー

定員:50名(お申し込み先着順)

参加費無料

お申込みは、2023年5月末より、資生堂ギャラリーウェブサイトにて案内予定です。

お問い合わせ:資生堂ギャラリー tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

登壇者プロフィール

太田和彦

1946年生まれ。グラフィックデザイナー。資生堂宣伝制作室でアートディレクターとして活動。フォトグラファーの十文字美信氏と手がけた前衛的な1970年代の「シフォネット」の連作広告作品は社内外に大きな衝撃を与えた。作品集に『異端の資生堂広告/太田和彦の作品』がある。現在は居酒屋探訪家としても活躍中。

十文字美信

1947年生まれ。フォトグラファー。1971年に独立。デビューから現在まで一貫して、鑑賞者の記憶や心理に深く分け入り、写真のイメージを広げようとする作品を発表し続けている。資生

堂では、太田和彦氏との「シフォネット」連作広告作品の他、真行寺君枝氏がモデルとなった「ゆれる、まなざし」の広告などを撮影。

■関連企画 2

「BAR S(バー エス)」×「あいだ に あるもの—1970年代の資生堂雑誌広告から—」  
資生堂ギャラリーと同ビル(東京銀座資生堂ビル)11階「BAR S(バー エス)」では、香水「モア」のシリーズ広告をモチーフにした3種類のオリジナルカクテルをお楽しみいただけます。

\* 展開期間: 2023年6月6日(火)ー7月29日(土)

---

本展に関するお問い合わせ先	〒104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5 株式会社 資生堂 アート&ヘリテージ マネジメント部 担当: 山田・伊藤 (10:00~17:00 土日祝休) takayas.yamada@shiseido.com kenichiro.ito@shiseido.com
写真資料請求先	資生堂ギャラリー 担当: 永田・大橋 tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951 (11:00~18:00 月曜休) ayako.nagata@shiseido.com noriko.ohashi@shiseido.com